

国際交流員イソミの



いいないこと



まだアメリカにいた頃、勤務地が決まつたことをきっかけに石川県について調べてみると、兼六園に関する多くの情報が見つかりました。その中には「雪吊り」が施された木々の写真がたくさん。私はこの時に初めて雪吊りのことと知り、一年中飾られている美しい装飾だと思い込んでいました。2023年8月、石川県に到着し、実物の雪吊りを見るために兼六園を訪りました。真夏の蒸し暑い中、汗をかきながら虹橋を何度も渡って探し続けましたが、どこにも見当たらず。そこで、写真に写っていた「雪吊りの木」はすでに枯れてしまったものの、今でも兼六園の象徴として広告やガイドブックに掲載されているのではないかと思い、少しがっかりしました。しかし、これも自然の摂理なので仕方ないことだと考えました。その後数ヶ月が経ち、雪吊りのことなどすっかり忘れていたある日、なんと近所に雪吊りがあるではありませんか！私はそこで初めて雪吊りは飾りではなく、木を雪の重みから守るためのものだと気付きました。

もうすぐ石川県での生活も3年目になりますが、雪吊りで季節の移り変わりを感じられることを楽しみにしています。

「国際交流カフェ」開催！

アメリカ出身の国際交流員、イソミによるトーク＆交流イベント。海外の文化や日本に住む外国人の経験について話します。

日時 5月17日(土) 14:00～15:30

場所 にぎわいの里のいち カミーノ

定員 15人（先着順）

問い合わせ 市民協働課 ☎ 227-6029
詳細は二次元コード▶



のっティからの挑戦！クロスワードパズル?? vol.67



◀応募はこちら :::::::

タテとヨコのかぎをいれてA～Eの文字を並べてね！

タテのかぎ

- お母さんに日頃の感謝を伝える日。今年は5月11日
- それとなく教え示すこと。ほのめかすこと
- 手術などで血液を必要としている人に血液を補う治療法
- 親から見て自分の子である男性は何？
- 英語で書くと「right」。日本語に訳すと何？
- 古代人が食べた貝殻が積もったもの。また、それを伴う遺跡
- 鳥類が空中を飛ぶための器官
- 目印として設けられたもの。道路〇〇〇〇〇
- 自分から危ない場所には近づかず、行動に気を付けることを「〇〇〇危うきに近寄らぬ」といいます
- 刺身や吸い物に用いられる付け合わせのこと
- 人間の体をつくる設計図に相当するもの。ヒトには約23,000個の〇〇〇〇〇があるとされています
- 墨を水ですりおろすために使用する道具
- 一つの事に気持ちが集中できないことを「気が〇〇」といいます

ヨコのかぎ

- 賛成や称賛などの意思表示の一種で、両手のひらを打ち合わせて音を出す行為
- 皮膚や皮膚の下に余分な水分が溜まった状態のこと
- 日本酒を造る工程で、もろみを搾った後に残る白い固形物のこと
- 口の奥の、食道・気管につながる部分
- 「椎骨」。何と読む？
- 睡眠中に見る悪夢を食べるとされる伝説上の生物
- 食生活改善推進員の通称は何？（ヒントは13ページ）
- 気がよく合うことや、意気投合することを「〇〇が合う」といいます
- 人の指摘などがまさにその通りであることを意味する言葉
- 充電式〇〇〇は正しく分別して捨てましょう（ヒントは3ページ）
- 危険な目に遭い、ぞっとすることを「〇〇を冷やす」といいます
- 「縄」を英語に訳すと何？

1		2	3		4		5
	D						
		6		7			
8			9		C		10
		11				12	13
	14		15		16		B
17		18					
19				20		21	
	A		22		23		E

そばだんご&ドリンク ペア引換券



【応募方法】

応募フォーム（上記二次元コード）または電子メール、はがきに①クイズの答え②住所、氏名、年齢、電話番号③広報紙の感想を書いて上、下記へ送付

締め切り 5月15日(木)（消印有効）当選者の発表は賞品の発送をもって行います。感想は公開する場合があります。

【あて先】

〒921-8510 野々市市三納1-1
市民協働課広報広聴係
Mail:kyoudou@city.nonoichi.lg.jp

【先月号のクロスワードの答え：ツバキマツリ】